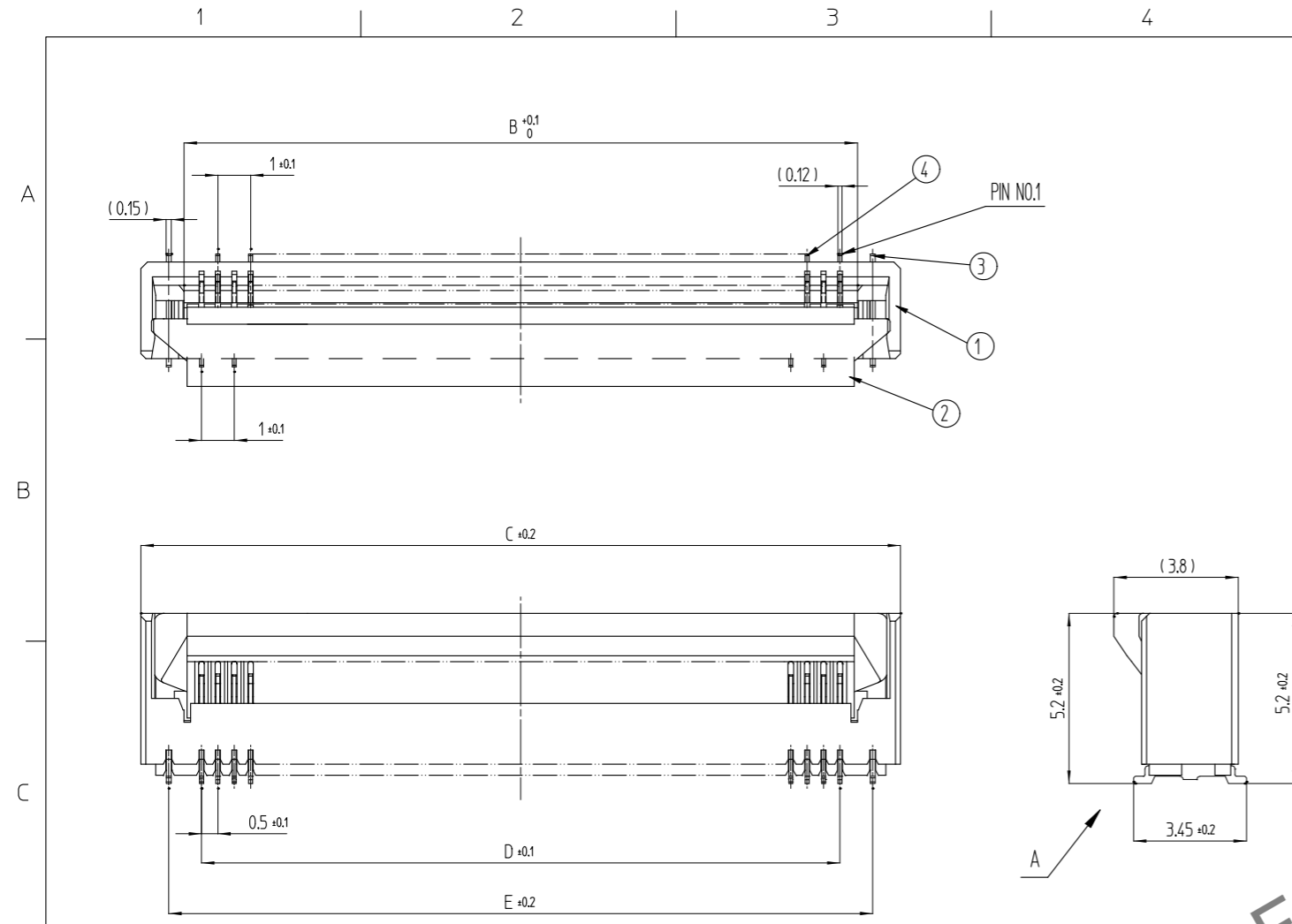
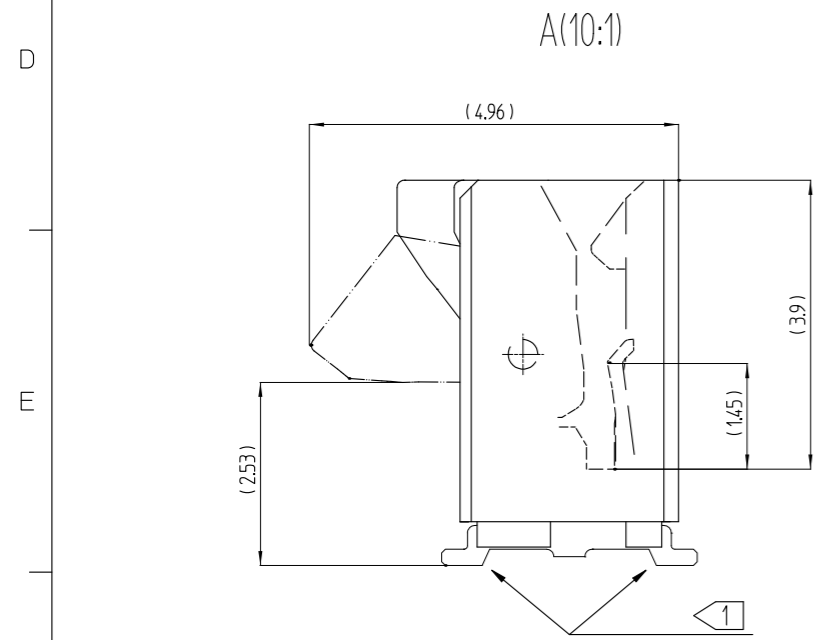
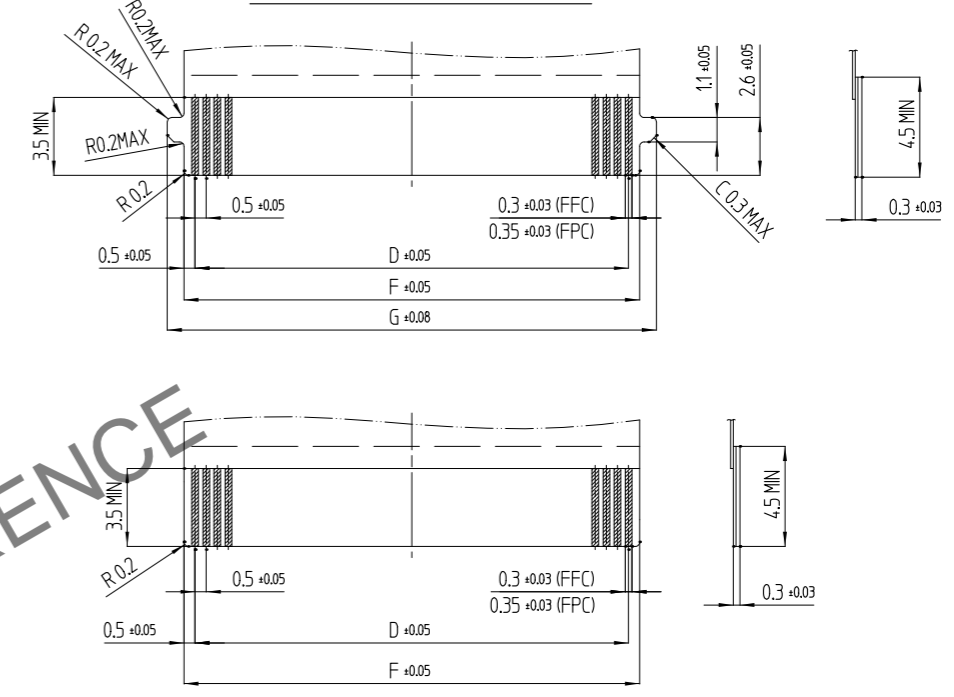


Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

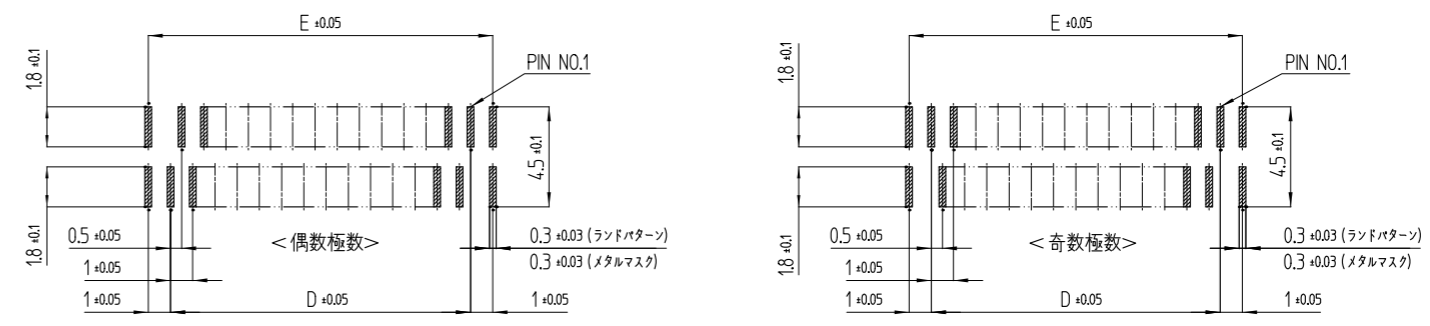
△ 数 COUNT	訂正事項 DESCRIPTION OF REVISIONS	描出 B Y	検出 CHKD	年月日 DATE	△ 数 COUNT	訂正事項 DESCRIPTION OF REVISIONS	描出 B Y	検出 CHKD	年月日 DATE
△	-	RE-5-1603	L.S.G	C.D.H	17, 03, 09	△			
△	1	RE-5-2133	K.G.B	C.D.H	19, 03, 29	△			
△	-	RE-5-2946	C.Y.H	C.D.H	23, 02, 01	△			



FPC/FFC 推奨寸法図 (3:1)



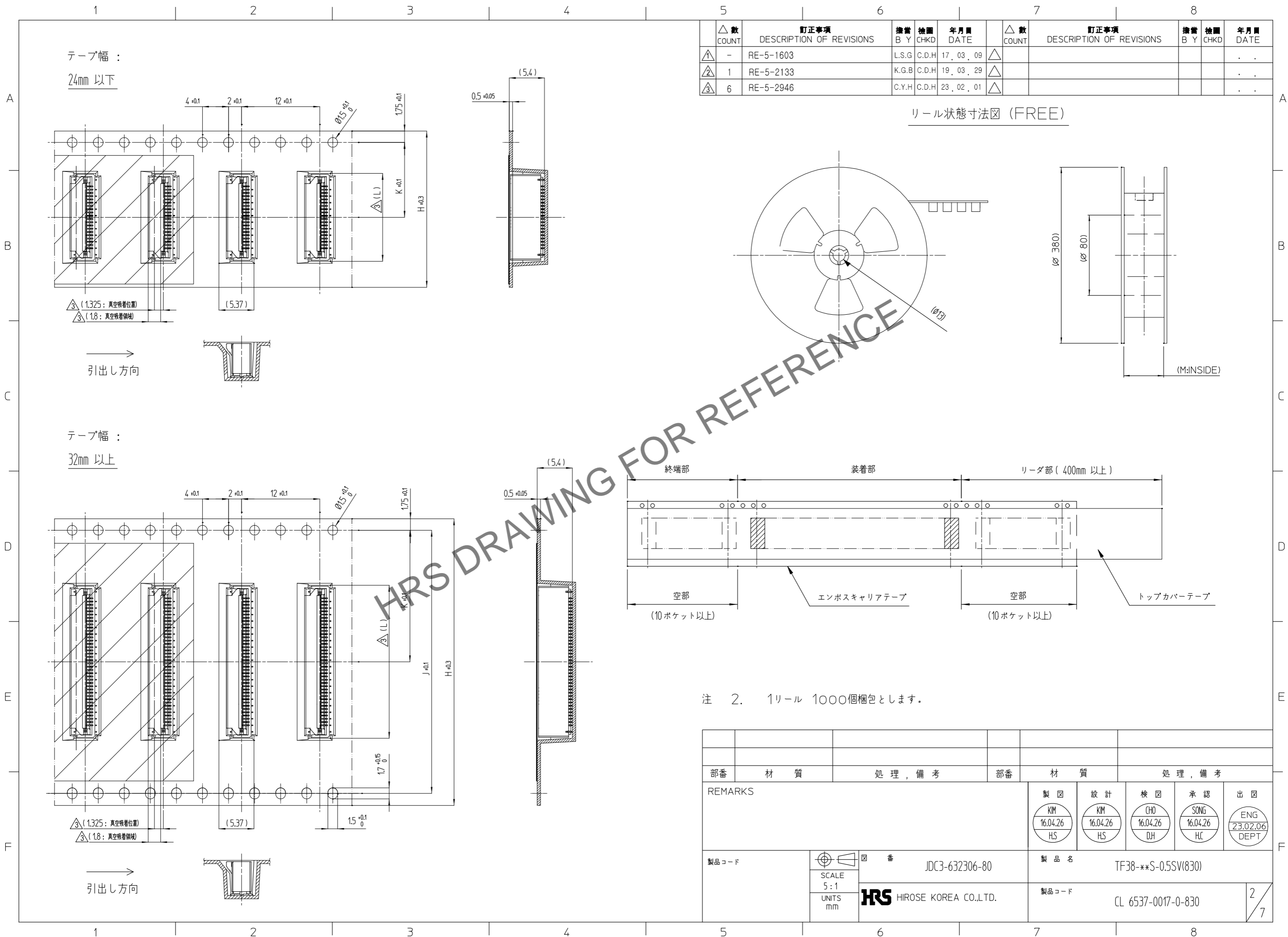
推奨ランド、メタルマスク寸法図 (3:1)
 推奨メタルマスク厚 : $t=0.15$



注 ① 各リード間の平坦度は0.1以内です。

2	LCP	BLACK	UL94V-0	4	りん青銅	(CONTACT AREA) GOLD 0.03 μ m MIN. OVER NICKEL 1 μ m MIN. (LEAD) GOLD 0.03 μ m MIN. OVER NICKEL 1 μ m MIN. (OTHER) NICKEL PLATING 1 μ m MIN.										
1	LCP	BEIGE	UL94V-0	3	りん青銅	Sn 1 μ m MIN. OVER NICKEL 1 μ m MIN.										
部番	材質	処理, 備考	部番	材質	処理, 備考											
REMARKS						<table border="1"> <tr> <td>製図</td> <td>設計</td> <td>検出</td> <td>承認</td> <td>出図</td> </tr> <tr> <td>KIM 16.04.26 HS</td> <td>KIM 16.04.26 HS</td> <td>CHO 16.04.26 DH</td> <td>SONG 16.04.26 HC</td> <td>ENG 23.02.06 DEPT</td> </tr> </table>	製図	設計	検出	承認	出図	KIM 16.04.26 HS	KIM 16.04.26 HS	CHO 16.04.26 DH	SONG 16.04.26 HC	ENG 23.02.06 DEPT
製図	設計	検出	承認	出図												
KIM 16.04.26 HS	KIM 16.04.26 HS	CHO 16.04.26 DH	SONG 16.04.26 HC	ENG 23.02.06 DEPT												
製品コード	図番 JDC3-632306-80			製品名	TF38-**S-0.5SV(830)											
	SCALE 5:1	HRS HIROSE KOREA CO.,LTD.			製品コード	CL 6537-0017-0-830										
	UNITS mm					1/7										

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。



△ 数 COUNT	訂正事項 DESCRIPTION OF REVISIONS	描者 B Y	検者 CHKD	年月日 DATE	△ 数 COUNT	訂正事項 DESCRIPTION OF REVISIONS	描者 B Y	検者 CHKD	年月日 DATE
-	RE-5-1603	L.S.G	C.D.H	17, 03, 09					
1	RE-5-2133	K.G.B	C.D.H	19, 03, 29					
6	RE-5-2946	C.Y.H	C.D.H	23, 02, 01					

部番	材質	処理, 備考	部番	材質	処理, 備考
REMARKS					
			製図 KIM 16.04.26 HS	設計 KM 16.04.26 HS	検図 CHO 16.04.26 DH
			承認 SONG 16.04.26 HC		出図 ENG 23.02.06 DEPT
製品コード	図番 JDC3-632306-80		製品名 TF38-**-S-0.5SV(830)		
	SCALE 5:1	HRS HIROSE KOREA CO.,LTD.		製品コード CL 6537-0017-0-830	2/7
	UNITS mm				

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

△ 数 COUNT	訂正事項 DESCRIPTION OF REVISIONS	描出 B Y	検出 CHKD	年月日 DATE	△ 数 COUNT	訂正事項 DESCRIPTION OF REVISIONS	描出 B Y	検出 CHKD	年月日 DATE
△	-	RE-5-1603	L.S.G	C.D.H	17, 03, 09	△			
△	1	RE-5-2133	K.G.B	C.D.H	19, 03, 29	△			
△	-	RE-5-2946	C.Y.H	C.D.H	23, 02, 01	△			

製品名	極数表示	コネクタ、FPC、FFC、ランド、メタルマスク寸法表						梱包仕様図寸法表				
		B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
△ TF38-16S-0.5SV(830)	16	8.57	11.2	7.5	9.5	8.5	10	24	-	11.5	11.5	24.5
TF38-18S-0.5SV(830)	18	9.57	12.2	8.5	10.5	9.5	11	24	-	11.5	12.5	24.5
TF38-20S-0.5SV(830)	20	10.57	13.2	9.5	11.5	10.5	12	24	-	11.5	13.5	24.5
TF38-22S-0.5SV(830)	22	11.57	14.2	10.5	12.5	11.5	13	24	-	11.5	14.5	24.5
TF38-24S-0.5SV(830)	24	12.57	15.2	11.5	13.5	12.5	14	24	-	11.5	15.5	24.5
TF38-26S-0.5SV(830)	26	13.57	16.2	12.5	14.5	13.5	15	32	28.4	14.2	16.5	32.5
TF38-30S-0.5SV(830)	30	15.57	18.2	14.5	16.5	15.5	17	32	28.4	14.2	18.5	32.5
TF38-32S-0.5SV(830)	32	16.57	19.2	15.5	17.5	16.5	18	44	40.4	20.2	19.5	44.5
TF38-36S-0.5SV(830)	36	18.57	21.2	17.5	19.5	18.5	20	44	40.4	20.2	21.5	44.5
TF38-38S-0.5SV(830)	38	19.57	22.2	18.5	20.5	19.5	21	44	40.4	20.2	22.5	44.5
TF38-40S-0.5SV(830)	40	20.57	23.2	19.5	21.5	20.5	22	44	40.4	20.2	23.5	44.5
TF38-45S-0.5SV(830)	45	23.07	25.7	22	24	23	24.5	44	40.4	20.2	26	44.5
TF38-50S-0.5SV(830)	50	25.57	28.2	24.5	26.5	25.5	27	44	40.4	20.2	28.5	44.5
TF38-60S-0.5SV(830)	60	30.57	33.2	29.5	31.5	30.5	32	56	52.4	26.2	33.5	56.5

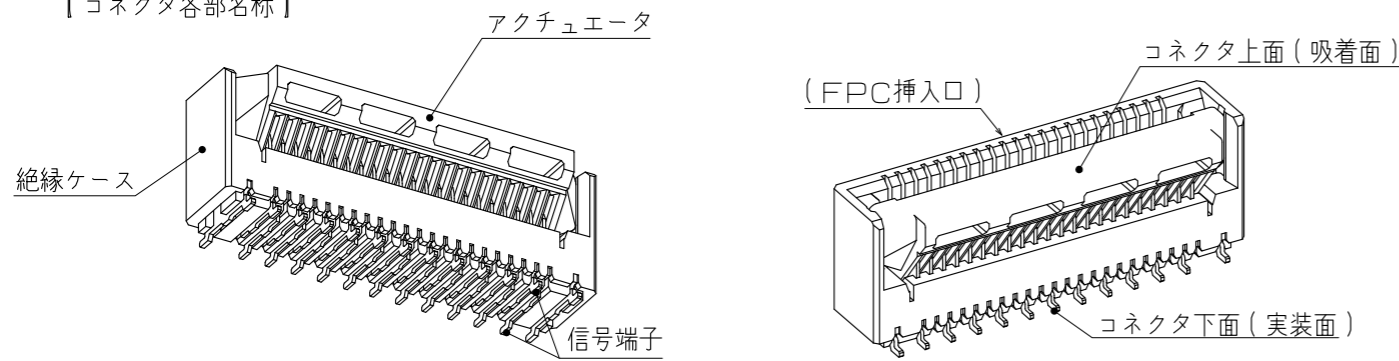
HRS DRAWING FOR REFERENCE

部番	材質	処理, 備考	部番	材質	処理, 備考
REMARKS			製図 KM 16.04.26 HS	設計 KM 16.04.26 HS	検出 CHO 16.04.26 DH
			承認 SONG 16.04.26 HC	出図 ENG 23.02.06 DEPT	
製品コード	図番	JDC3-632306-80	製品名 TF38-**S-0.5SV(830)		
	SCALE 5:1	HRS HIROSE KOREA CO.,LTD.	製品コード CL 6537-0017-0-830		
	UNITS mm		3 7		

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

本コネクタは取り扱いについて注意が必要です。コネクタやFPCの破損、接触不良（かん合不良、FPCパターンの断線）を防ぐ為、以下の内容をご確認の上、ご使用ください。

【コネクタ各部名称】



【コネクタ操作方法と注意点】

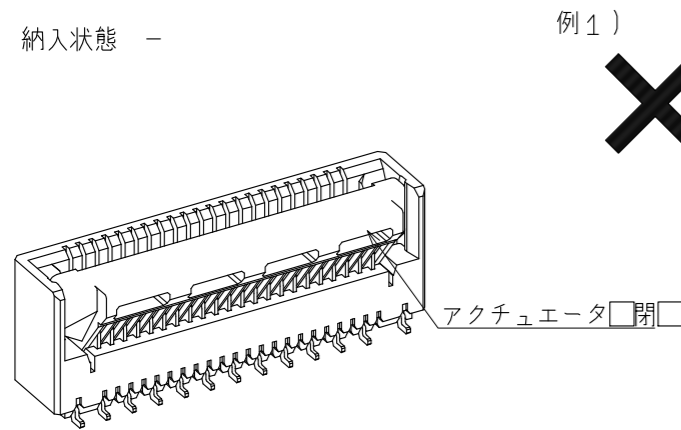
1. 初期納入状態

アクチュエータ閉じ状態で納入いたします。
FPCを挿入する前に、アクチュエータを操作する必要はありません。

【注意】

- ・FPC未挿入状態でアクチュエータを開けないようにしてください。（例1）
- ・基板未実装の状態でコネクタの操作を行わないでください。（例1）

－ 納入状態 －



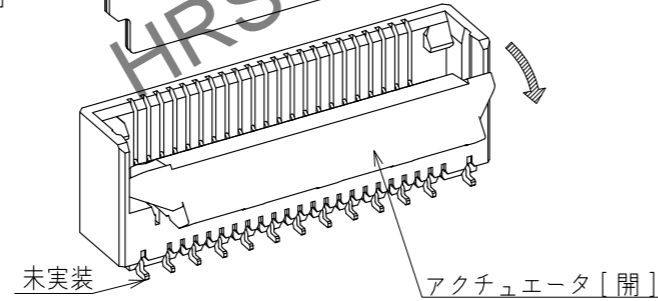
例1) NG

2. FPC挿入方法

FPCは基板面に対して垂直になるよう挿入し、奥まで確実に挿入してください。（例2）

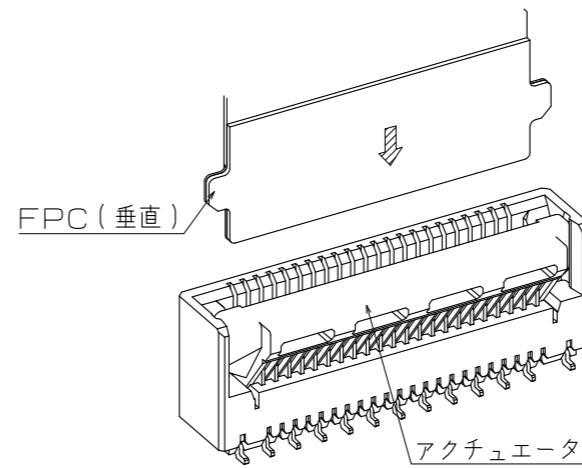
【注意】

- ・FPCを挿入する際はアクチュエータが閉じていることを確認してください。アクチュエータが開いた状態でFPCを挿入しないでください。（例3）
- ・アクチュエータが開いた状態ではFPCを挿入できない構造となっておりますが無理にFPCを挿入すると破損の原因となります。
- ・アクチュエータを抑えてFPCを挿入しないで下さい。（例4）
- ・FPCのパターン面をアクチュエータ操作部の反対側にして挿入してください。（例5）
- ・FPC先端の両端をコネクタ嵌合口両端の誘いで垂直に位置決めしてから真っ直ぐに挿入してください。（例6）
- ・挿入方向に対し斜めにならないように挿入してください。（例7）
- ・FPCを挿入の際、上下、左右、斜め方向にこじらないでください。（例8）
- ・FPC挿入時にアクチュエータを指で開けないようにして下さい。（例9）

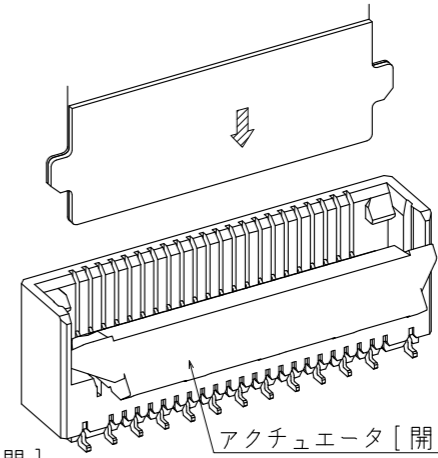


例1)

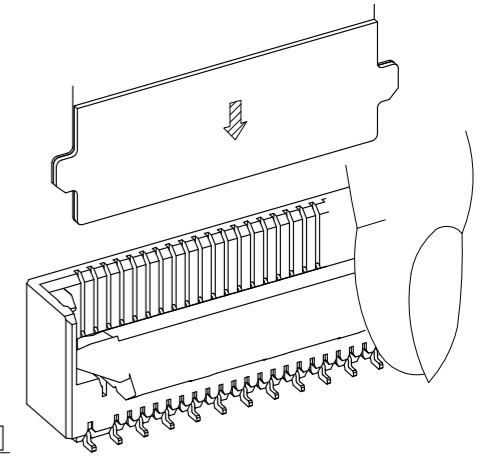
例2) OK



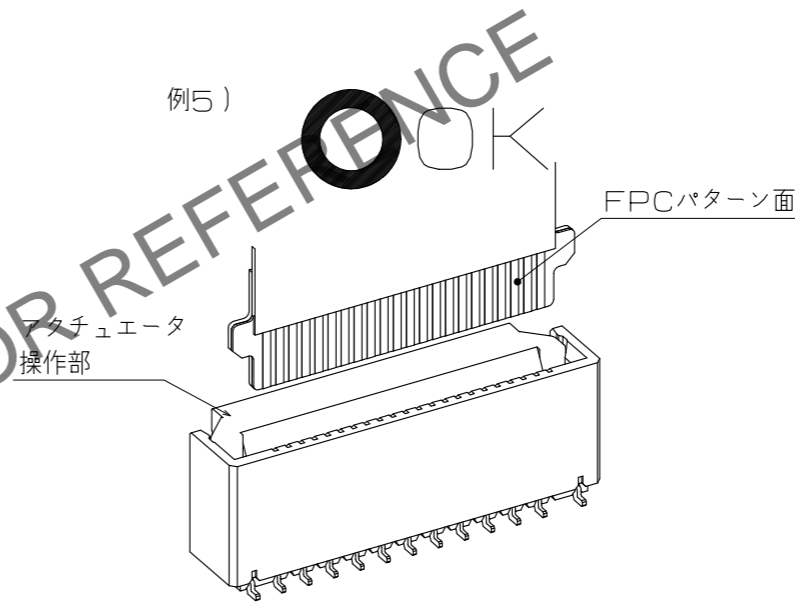
例3) NG



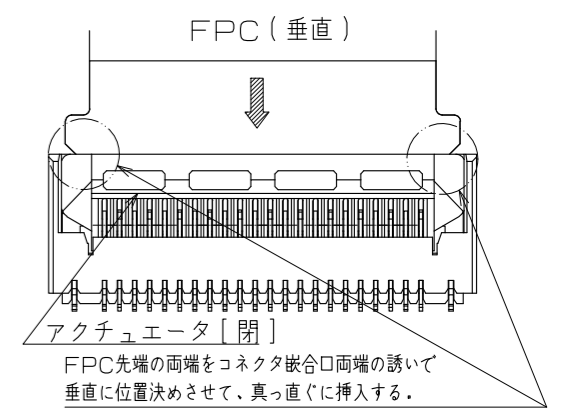
例4) NG



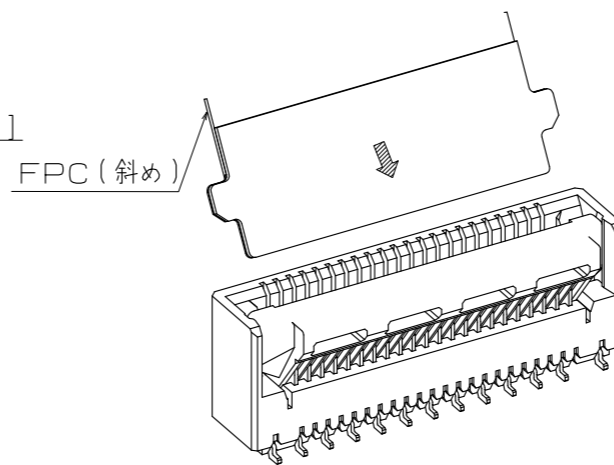
例5) OK



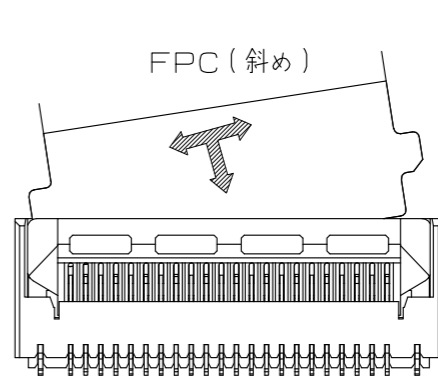
例6) OK



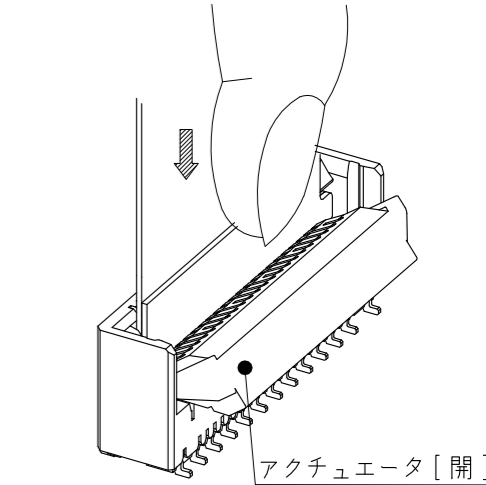
例7) NG



例8) NG



例9) NG



<取扱いのご注意(1)>

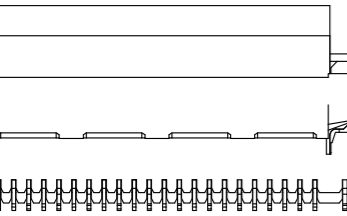
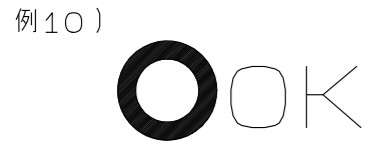
Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

3. FPCかん合確認

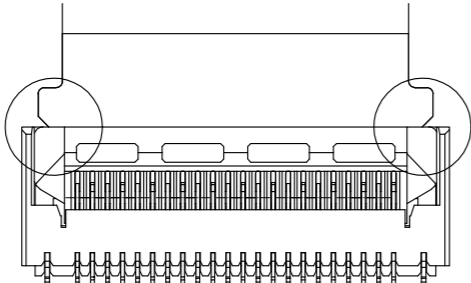
FPC挿入完了時は、FPC挿入状態の目視確認をしてください。(例10)
(本コネクタは、絶縁ケースのロック部によりFPCを位置決めしております。)

[注意]

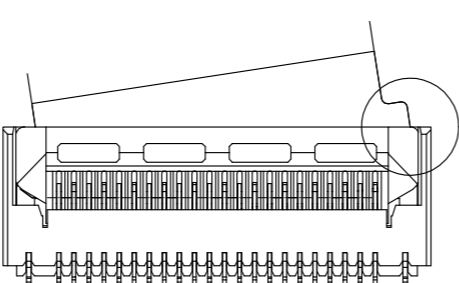
・FPCの浅挿入や斜め挿入にならないようにしてください。(例11)(例12)



例10) FPCが嵌合口の突き当てまで挿入されている



例11) FPCが浅挿入され嵌合口の突き当てまで挿入されていない



例12) FPCが斜め挿入され嵌合口の突き当てまで挿入されていない

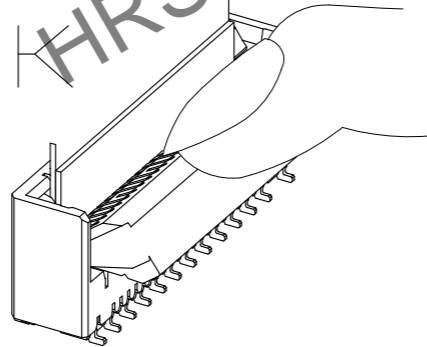
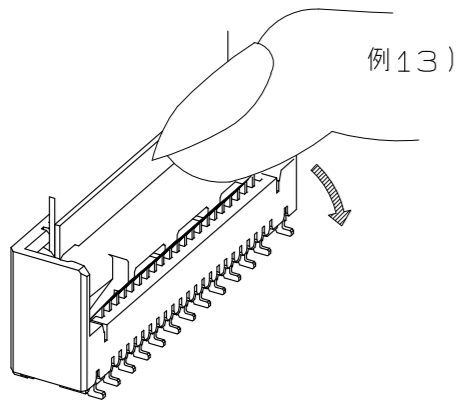
4. アクチュエータ操作方法

アクチュエータをゆっくりと押し下げ、ロックしてください。(例13)

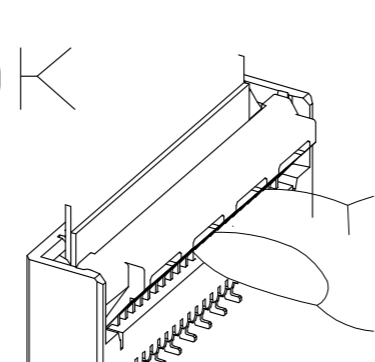
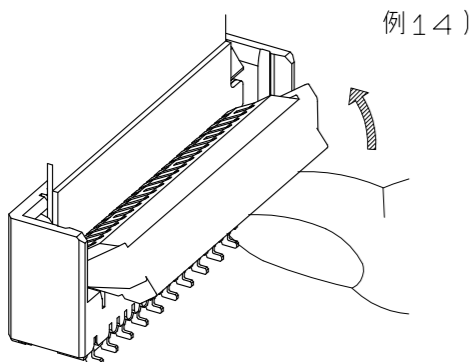
アクチュエータをゆっくりと押し上げ、ロック解除してください。(例14)

[注意]

- ・アクチュエータは中央部付近を操作してください。(例15)
- ・アクチュエータは片端側だけを操作しないでください。(例16)
- ・アクチュエータは、90°までしか開きませんので、それ以上の角度に開かないでください。(例17)
- ・アクチュエータを掴んで持ち上げたり引っ張ったりしないでください。(例18)
- ・アクチュエータの操作は必ず手で行い、ピンセット等、鋭利な治具で操作しないでください。(例19)
- ・作業時にアクチュエータに無理な力を加えないでください。(例20)



例13)

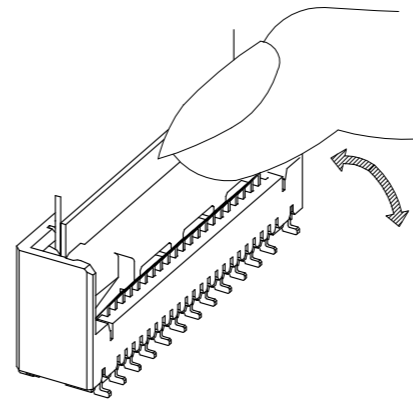


例14)

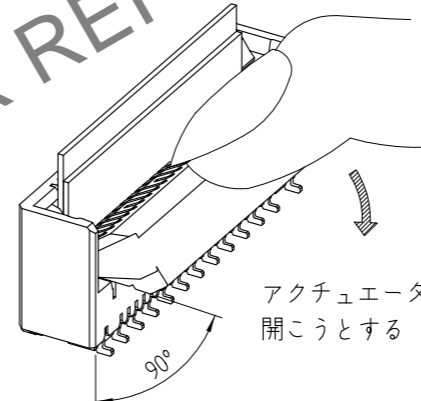
例15)



アクチュエータ中央部で操作

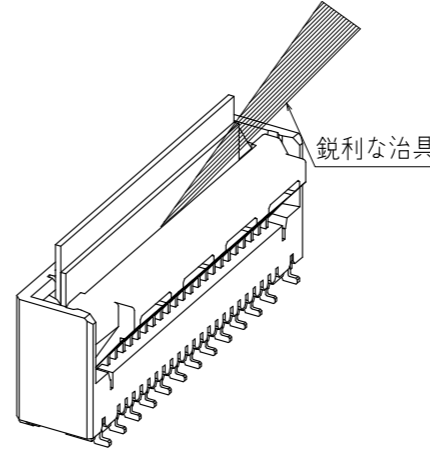


例17)



アクチュエータを90°以上開こうとする

例19)

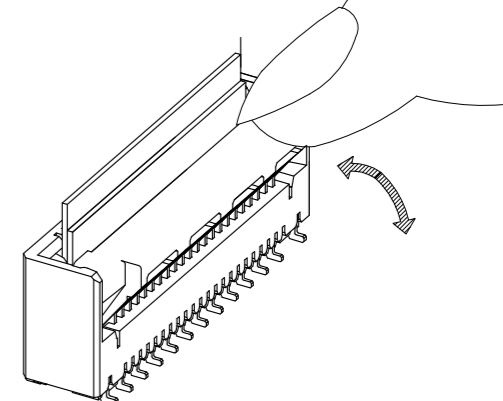


鋭利な治具

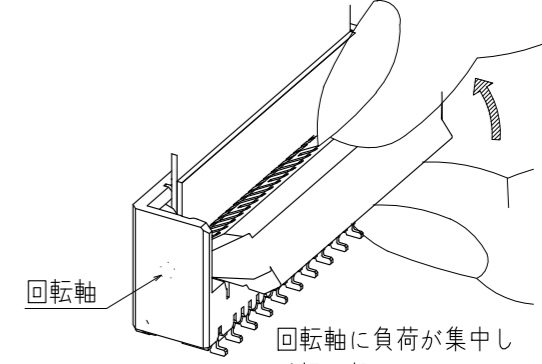
例16)



アクチュエータ片端側で操作

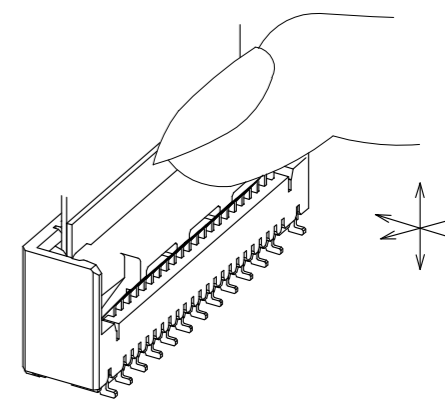


例18)



回転軸に負荷が集中し破損に繋がる

例20)



アクチュエータに無理な力を与える

<取扱いのご注意(2)>

5. FPC 抜去方法

ロック解除後FPCを基板面に対し垂直方向に引き抜いてください。(例21)

[注意]

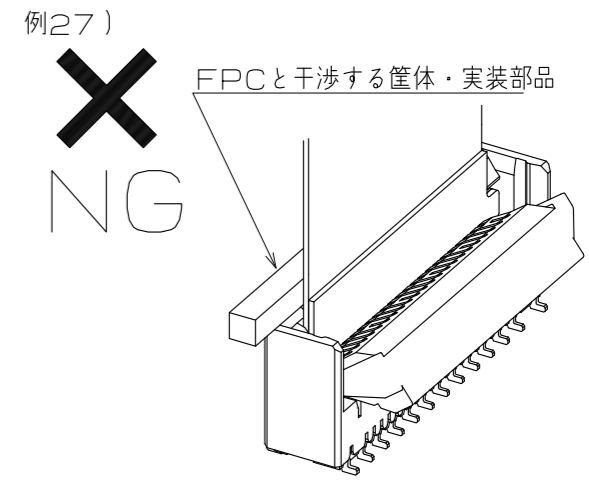
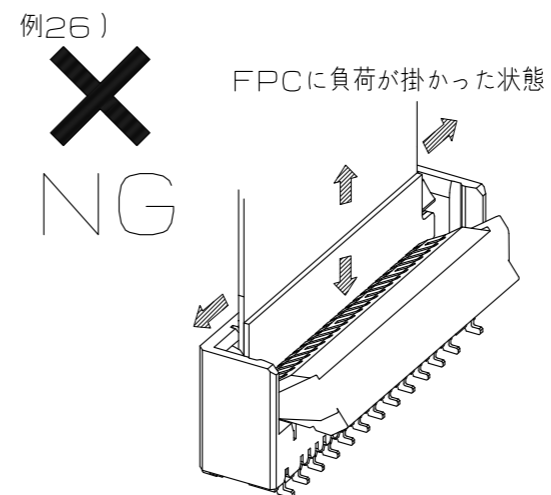
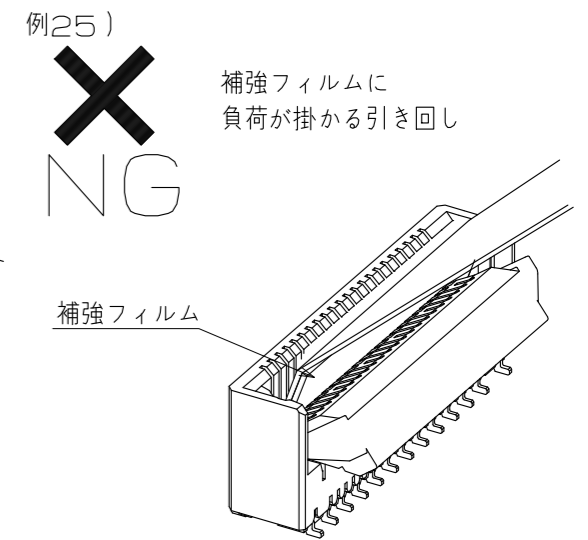
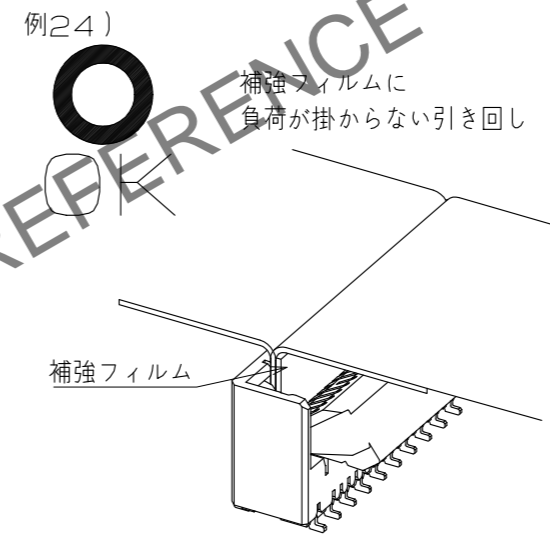
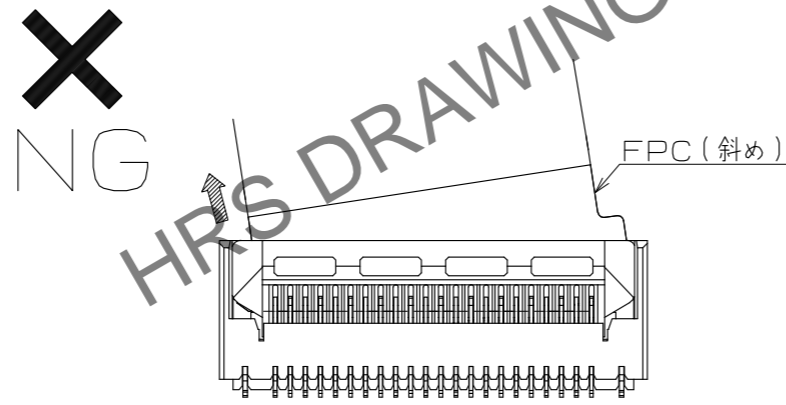
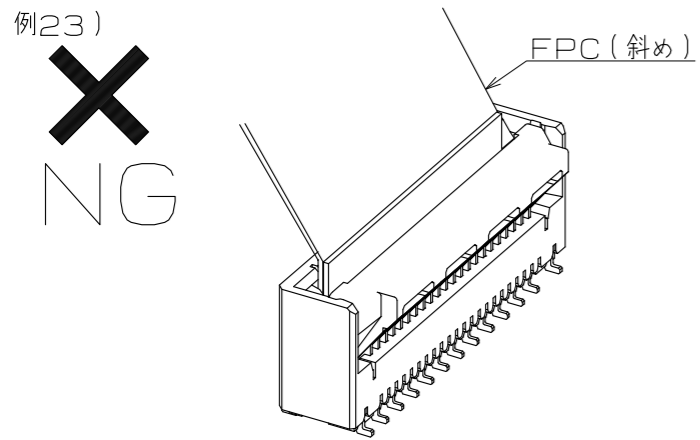
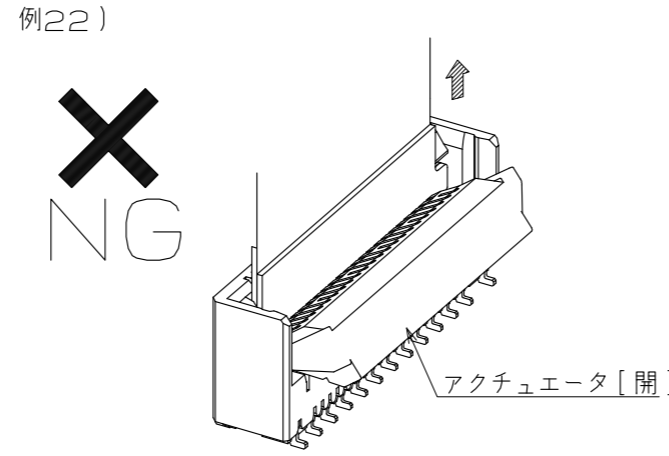
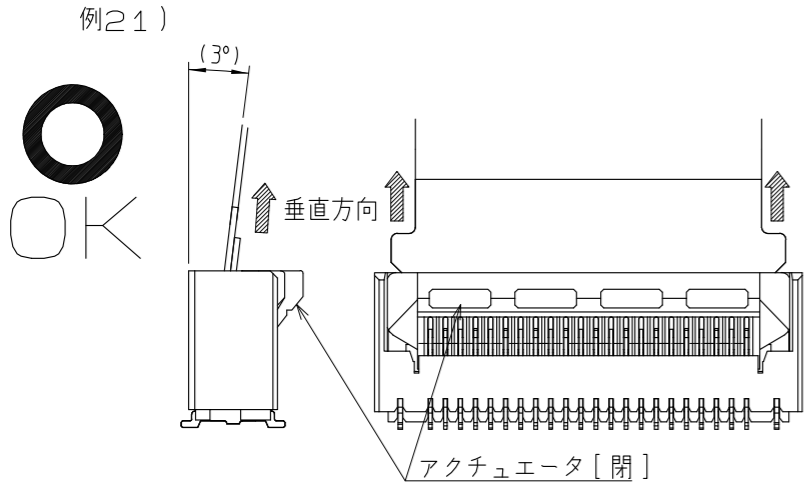
- ・アクチュエータをロックした状態でFPCを引き抜かないでください。(例22)
- ・FPC無理抜き後はFPC保持力が低下する場合があります。
- ・本コネクタは、アクチュエータによるFPC保持機構を設けております。
- ・FPC抜去時は基板垂直方向以外に負荷をかけないでください。(例23)

【基板レイアウトのご注意】

かん合するFPCの引き回しによっては、コネクタに負荷が加わり、接触不良等の不具合に繋がる可能性があります。不具合防止の為、機構設計上、下記項目にご配慮いただけますようお願いいたします。

[注意]

- ・FPCを引き回して使う場合、FPCを引っ張らず余裕を持たせて引回しをして頂けますようお願いいたします。その際、補強フィルムが基板面に対して垂直になるようご配慮をお願いします。(例24)
- ・コネクタに引張り・挿入・横方向へ負荷が加わらないようご配慮をお願いします。コネクタの付近でFPCが屈曲した状態でご使用になると、接触不良やFPCの破損・断線の原因となりますので、FPCを固定するなどの配慮をお願い致します。(例25)(例26)
- ・FPCに干渉するような筐体、実装部品を配置しないでください。(例27)
- ・FPCの屈曲性については、FPCメーカー様と擦り合せをお願い致します。
- ・FPCが斜め挿入にならないように、レイアウト設計時にFPC挿入スペースを確保できるように配慮をお願い致します。また、FPCが短すぎても挿入が難しくなりますので、適切なFPCの長さ部品レイアウトをお願い致します。
- ・基板・レイアウト設計の際は、操作に必要なスペースの確保をお願い致します。



<取扱いのご注意(3)>

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved. 本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

Mar.1.2026 Copyright 2026 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

【基板実装時のご注意】

基板実装の際は、下記に注意してください。

【注意】

- ・実装基板ランド形状、メタルマスク開口形状、FPC形状は、弊社推奨をご確認ください。
- ・ランドが弊社推奨よりも狭い場合や、メタルマスク開口が弊社推奨よりも広い場合、はんだ（フラックス）上がりが発生しやすくなります。弊社推奨パターンと相違する場合は、実装状態をご確認の上ご使用ください。
- ・端子リード下面とモールド下面との段差はわずかな寸法設計となっております。コネクタ下面にシルク印刷等がある場合、コネクタ下面を押し上げ、はんだ未着、はんだフィレット形成不良になる可能性があります。コネクタ下面にシルク印刷等がある場合は、実装状態をご確認の上ご使用ください。
- ・リフロー条件は、弊社の仕様範囲内でご使用ください。クリームはんだの種類、メーカー、基板サイズ、その他の実装部材等の条件により実装状態が変わる可能性があります。実装状態をご確認の上ご使用ください。
- ・基板の反り量は極力抑えるようにしてください。本コネクタの平坦度は0.1mm以下ですが、基板の反り量が大きいとはんだ付け不良となることがあります。
- ・FPCへ実装する際は、必ず補強板を設け、取り扱い易いものにしてください。補強板は、ガラスエポキシ材で厚さ0.3mm以上を推奨いたします。
- ・エンボスをリールから引き出す際や、エンボスからコネクタを吸着する際など、実装前のコネクタに過度な外力（1N以上）を加えないでください。

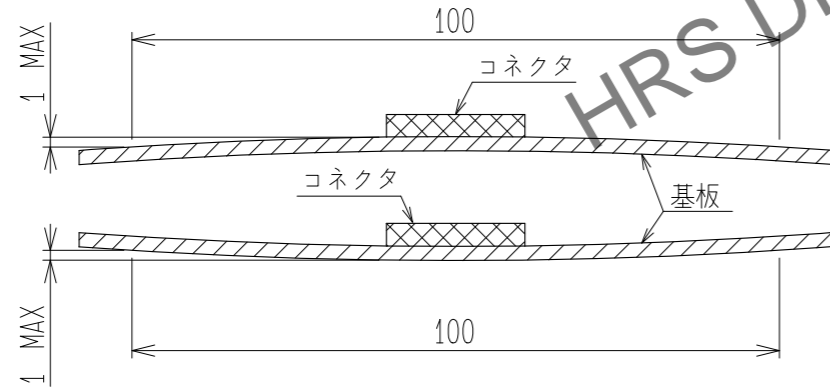
【実装後の基板取り扱いのご注意】

実装後の基板の取り扱いを行う際は、下記に注意してください。

【注意】

- ・「多数取りの基板を割る」、「基板をネジ留めする」といったアセンブリ工程で、基板に負荷を加えないでください。コネクタに負荷が加わり、破損する可能性があります。
- ・基板幅100mmにおいて、基板のたわみが1mm以下の条件でご使用ください。（例28）基板がたわむことによって、コネクタに負荷が加わり、破損する可能性があります。

例28)



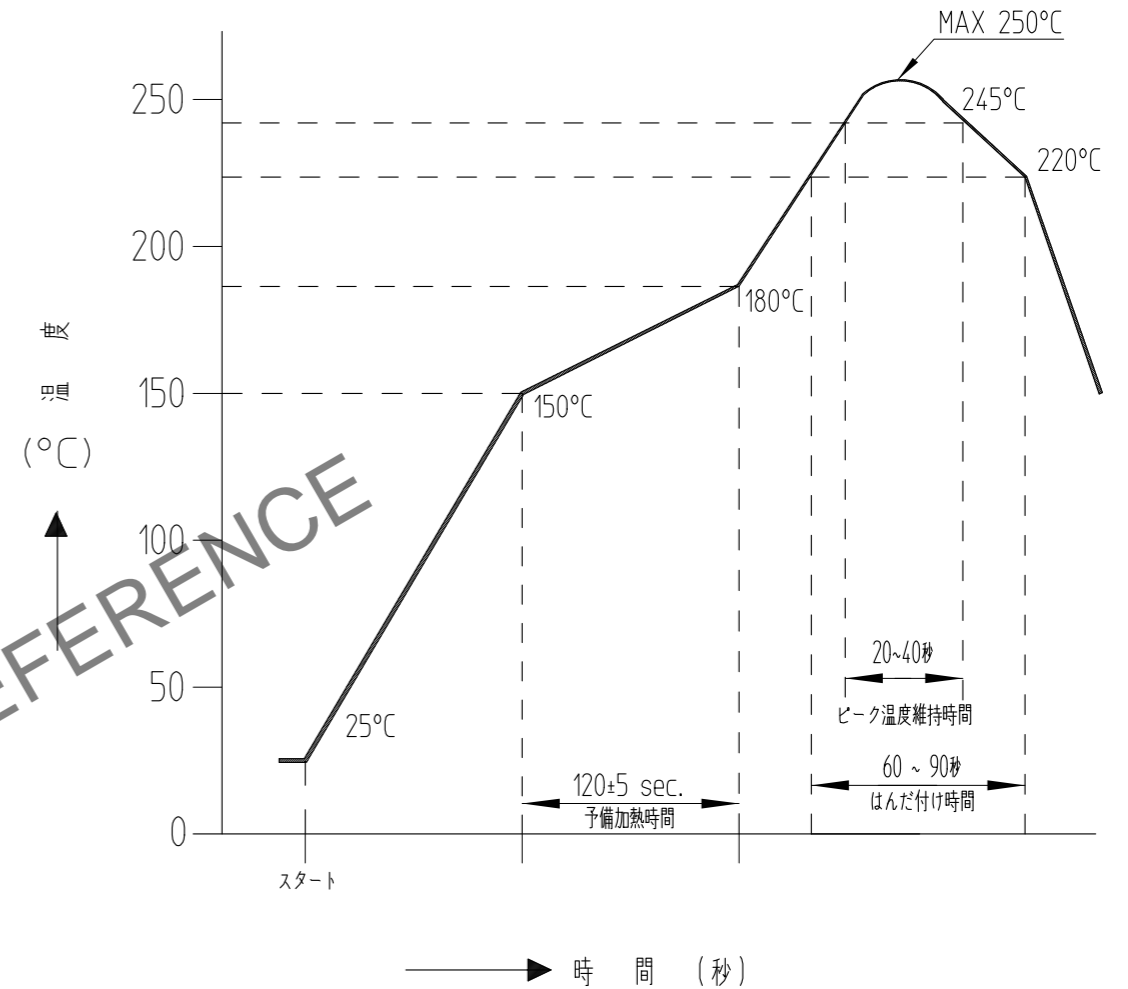
【手はんだのご注意】

リペアーなど手はんだを行う際は、下記に注意してください。

【注意】

- ・コネクタにFPCを挿入した状態で、手はんだを行わないでください。
- ・過度の熱を加えたり、はんだコテがコネクタの端子リード部以外に触れないように注意してください。コネクタが変形したり溶ける原因になります。
- ・過度のはんだ（フラックス）は供給しないでください。端子にはんだ（フラックス）を供給しすぎるとはんだやフラックスが接点に付着し、接触不良の原因となります。また、補強金具にもはんだを供給しすぎるとロックレバーの回転動作に支障が出てコネクタ破損の原因となります。

【リフロー温度プロファイル】



【適用条件】

リフロー方式：遠赤・熱風リフロー
はんだ：クリームタイプSn/3.0Ag/0.5Cu

試験基板：

- －基板材質：ガラスエポキシ
- －ランド寸法：推奨ランド寸法図
- メタルマスク：
- －厚さ及び開口寸法：推奨メタルマスク寸法図

この温度プロファイルは上記適用条件のもので、クリームはんだの種類、メーカー、基板サイズ、その他の実装部材等の条件により異なる場合がありますので、実装状態を確認の上ご使用願います。

<取扱いのご注意(4)>